

つかむ

調べる

まとめる

深める

～発信者・受信者の立場で、情報の活用のあり方を考える活動～

1. 小单元名『情報を生かすわたしたち』

(教科書：『小学社会 5下』 p.22～27／学習指導要領：内容（4）イ）

2. 小单元の目標

インターネットの利用が生活に与える影響について調べ、情報化が進んだ社会の中で、情報の発信者・受信者として気をつけるべきことや、情報を生活に生かしていくために大切なことを捉えさせる。

3. 小单元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
自分の体験や様々な資料をもとに、インターネットの利便性について意欲的に調べるとともに、利用に際して注意すべきことも積極的に考え出し、話し合おうとしている。	情報化が進んだ生活の中で、自分はどういうことに気をつけて暮らしていけばよいか考え、表現している。	情報化の進展の様子や、インターネットが生活にもたらす便利な点・不安な点などを、適切な資料を活用して読み取っている。	情報化が進んだ社会におけるインターネットの利便性や効率性などとともに、注意点や問題点についても理解している。

4. 指導にあたって

(1) 教材について

本小单元では、情報化の進展によって人々の生活の向上が図られていることを調べ、情報化した社会の様子と国民生活との関わりについて学習する。そして、情報化の進展が、国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや、情報の有効な活用が大切であることに気づかせるようにする。

前小单元までに、情報ネットワークが活用されている事例を調べ、情報化の進展が生活の向上に影響していることを学習している。また、身近な場面でも、インターネットを活用して情報を検索したり、動画などを視聴したりした経験がある児童が多く、情報ネットワークは児童にとって身近な存在になってきているといえる。

しかし、便利な点だけでなく、不安な点も理解したうえで、情報ネットワークを活用している児童は少ないと思われる。その結果、様々な問題が起きている現状もある。そのため本小单元では、情報ネットワークを活用するうえでの便利な点や不安な点、注意すべき点について、既習の内容や生活経験を振り返ったり、調べたことを手がかりにしたりして、情報の有効な活用が大切であることに気づかせ、自分の考えをまとめられるようにしていく。

(2) 指導上の工夫・留意点

情報の有効な活用が大切であることに気づかせるために、情報ネットワークの便利な点と不安な

点、情報を受信するときと発信するときなど、一つの側面からではなく複数の側面から考えさせる必要がある。単元の導入では、情報ネットワークの便利な点や不安な点を想起させる。この段階の児童にとって、情報ネットワークの便利な点や情報を受信するときの注意点については多数考えやすいが、不安な点や発信するときの注意点については思いつきにくい。そのため、次の時間では、情報ネットワークの利用に伴う不安な点について調べていく。さらに、自分が情報の発信者にもなりうるという自覚をもたせるため、情報の双方向性を意識づける必要もある。単元全体を通して、児童にとって身近な事例を取り上げたり、時事的な話題を提示したりして、情報ネットワークの利用に際しては不安な点もあることや、自分も情報の発信者であることを実感させながら、授業を展開していきたい。

そして、心情面からの思いだけではなく、社会的な思考としてまとめられるように、既習の知識を生かして考えたり、資料や事実などを比較・関連付けたりしたうえで、情報の有効な活用について考えさせることが重要である。

5. 小単元の指導（総時数4時間）

時数	ねらい	○学習活動
① （つかむ）	インターネットが広がることで、自分たちの暮らしがどのように便利になっているのかを考え、たくさんの情報の受信・発信に対して問題意識をもつことができるようにする。	○インターネットの普及によって生活が便利になっていることを調べ、インターネットによる様々なつながりや広がりをつまみ、情報を生活に生かしていくために大切なことを考える学習問題をつくる。
② （まとめる）	インターネットの利用に伴う不安な点について調べ、利用の際に気をつけなければいけないことについて考え、自分の言葉で表現できるようにする。	○インターネットを利用するときの注意点を自分たちの経験や具体的な資料をもとに考え、まとめる。
① （深める）	情報化が進んだ社会で生きていくために、自分たちは情報をどのように生かしていけばよいかを考え、情報を扱う際のルールづくりをすることで、学習を深めることができるようにする。	○自分たちは情報をどのように生かしていけばよいか、これまでの学習をもとにルールにまとめ、話し合う。

6. 本時の指導（第4／4時）

（1）本時のねらい

情報化が進んだ社会で生きていくために、自分たちは情報をどのように生かしていけばよいかを考え、情報を扱う際のルールづくりをすることで、学習を深めることができるようにする。

（2）本時における考え合い表現し合う活動と指導の留意点

本時は、各自で考えたルールについて表現し合うことで、複数の立場や視点から、情報を有効に活用することの大切さを考えられるようにする時間である。ねらいに沿ったルールづくりを行うた

めに、情報の利便性や情報化のもたらす様々な影響など、大単元全体の学習を偏りなく振り返る必要がある。また、受信者の側からのみ考えられたルールにならないように、身近な事例を取り上げつつ、誰でも発信者になりうることを意識づける。そのために、教科書5下 p.24～25の資料を振り返ることなども考えられる。そして、より多くの立場や視点からルールを考えたいうえで、条文の数を絞り込むようにする。絞り込みの際には、自分なりの理由を明確にさせる。個人で取り組むのが難しければ、グループ内でルールを発表し合いながら、絞り込んでいく活動も考えられる。そして、ルールの絞り込みを通して、それぞれのルールの価値を判断し、情報の有効な活用において、どのようなことが必要であるかを考え、表現できるようにする。

(3) 本時の展開

時配	○学習活動 T:発問 C:児童の反応	◎資料 ◇留意点 ◆評価												
3	○前時の学習内容や、学習問題のこたえを振り返る。 T:この単元では、インターネットの利用について、どのようなことを学習してきましたか。 C:様々な情報がどこでもすぐに調べられるので便利。 C:知らずに相手を傷つけてしまうことがある。 C:一人ひとりがルールを守ることが大切。	◇情報ネットワークの便利な点、不安な点など、様々な視点から振り返るように助言する。												
7	○自分たちも情報の発信者になりうることに気づき、本時の課題をつくる。 T:この資料は、全国で発生したいじめの問題のうち、あるいじめの割合を表しています。何だと思えますか。 C:暴力。 C:からかい。 C:インターネット上の発言。 T:そうです。インターネット上の発言からも、いじめが起きています。いじめにつながる発言とは、どのような発言でしょうか。 C:相手が傷つく発言。 C:相手が嫌がる発言。 T:そのような発言は、誰がしているのですか。 C:悪い人たち。 C:自分たちの中の誰か。 T:教科書 p.25の資料イを見てください。この中で問題となっている行動は、誰がしていると思えますか。 C:悪い人たち。 C:そういう人たちだけでなく、自分たちもしている。 T:このような問題が起きないようにするためには、どうすればよいでしょうか。 C:情報の扱い方に気をつける。 C:情報ネットワークを上手に活用するルールをつくる。	◎パソコンや携帯電話などを通じたいじめの割合(グラフ) <p>パソコンや携帯電話などで嫌なことや悪口を言われる 1.3%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校種別</th> <th>その他 (%)</th> <th>パソコンや携帯電話などで嫌なことや悪口を言われる (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>98.7%</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>92.2%</td> <td>7.8%</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>81.8%</td> <td>18.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(文部科学省『児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(平成26年度)』より)</p> <p>◇情報の発信者としての実感や責任感をもたせるために、児童にとって切実な事例(いじめの問題)を取り上げる。 ◎インターネットで起きた問題について、警察が受けた相談の割合(教科書5下 p.25 伊)</p>	学校種別	その他 (%)	パソコンや携帯電話などで嫌なことや悪口を言われる (%)	小学校	98.7%	1.3%	中学校	92.2%	7.8%	高等学校	81.8%	18.2%
学校種別	その他 (%)	パソコンや携帯電話などで嫌なことや悪口を言われる (%)												
小学校	98.7%	1.3%												
中学校	92.2%	7.8%												
高等学校	81.8%	18.2%												

	<p>T:今日は、情報を上手に活用するためのルールについて考えましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題</p> <p>情報を上手に活用するためには、どのようなルールが必要だろう。</p> </div>	
<p>25</p>	<p>○「情報ルール」を各自で考え、それぞれが考えたルールについて話し合う。</p> <p>T:「情報ルール」には、どのような内容を入れたらいいでしょうか。たくさん考えられると思いますが、ルールにまとめるのは三つまでとします。なぜ、その三つに絞り込んだのか、ということも大事になるので、忘れないでください。</p> <p>C:正しい情報なのか確かめる。</p> <p>C:緊急のときに連絡がとれるネットワークを活用する。</p> <p>C:相手のことを考えた内容で情報を出すようにする。</p> <p>C:自分が出す情報の内容には責任をもつ。</p> <p>C:個人情報、は、むやみに書き込まない。</p> <p>T:それぞれ、考えたルールを発表しましょう。聞くときには、そのルールを入れた理由にも注目すると、友達の考えがよくわかります。</p> <p>C:ぼくは「緊急のときに連絡がとれるネットワークを活用する」というルールを入れました。情報ネットワークは便利なものであるということを伝えたいからです。</p> <p>C:私は「個人情報、は、むやみに書き込まない」というルールを入れました。発信する情報の内容には、注意が必要だと思ったからです。</p>	<p>◇考えを絞り込む活動につなげるために、最初はより多くのルールを考案させる。</p> <p>◇絞り込む際の理由を明確にさせるために、まとめるルールの数を制限する。ルールの数は、児童の実態に応じたものとするが、3～4項目程度にすることが望ましい。</p> <p>◇友達の絞り込みの理由をしっかりと聞かせることで、本時の学習内容をまとめる手がかりとなるようにする。</p>
<p>10</p>	<p>○本時の課題についてまとめる。</p> <p>T:情報を上手に活用するためには、どのようなルールが必要だと思いますか。ノートにまとめましょう。</p> <p>C:情報ネットワークを活用するときは、個人情報の扱いに注意しながら、どこでもすぐに情報が引き出せるよさも生かしていきたいです。</p> <p>C:様々なメディアを使ってたくさんの情報が簡単に調べられるので、とても便利ですが、その情報の正確さを確かめることも必要です。</p>	<p>◇情報ネットワークの利便性と注意点など、複数の視点から考え、表現されている意見を称賛する。</p> <p>◆情報ネットワークの利便性や不安な点などをふまえながら、情報の活用の際に注意すべきことを考えようとしている。 (関・意・態/ノート)</p>